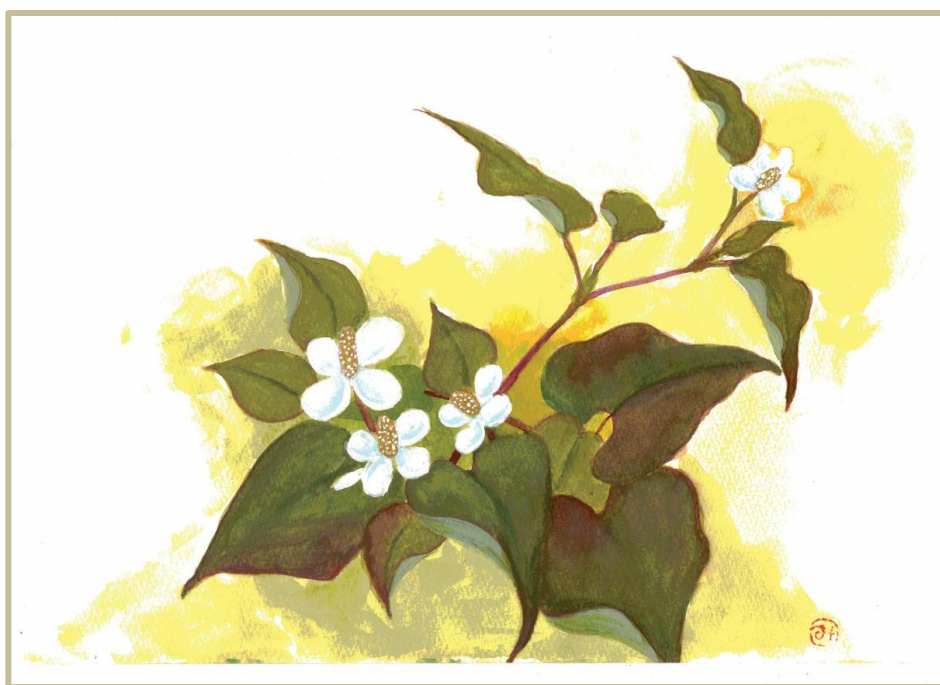


あかひら

No.345



2017. 8

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



あかげら

8月号

も く じ

-
- 01 縦走路「岩手いいところ」 村田 眞司
02 今後の日程（事務局）
-
- 03 今後の山行計画
-
- 07 運営委員会報告
09 事務局から
10 県連報告
12 全国連盟メールニュース
14 専門部報告
●組織部 ●会報部
17 志向別グループからのお知らせ
◆岩手の名山あるこうかい&四季の山
18 行ってきました！
-
- ▲山行報告
19 月山 久保加世子
21 初めての北アルプス・槍ヶ岳 大倉 博
23 引導渡された荒島山と観光旅行 小田 嘉洋
-
- 26 ある日ある時 “<風が吹くと・・・>” 淡 望天
28 交流の広場

岩手県の人口密度は北海道について2番目に低く、最も高い東京都の約70分の1で、日本の平均の約4分の1である。何とゆっくりと贅沢に暮らせる土地なのだろうか！そして、百名山を含む多くの山々、川、海があり、良い温泉と雪質優れるスキー場がたくさんある。冬の寒さは厳しく、半年近く暖房が必要な生活となるが、その分、春を待望する事ができ、盛んな夏も味わえ、錦秋の豊穡の秋に恵まれる。55年前に岩手に生まれ、学生時代や単身生活での10数年を除けば、ずっとこの地に住んでおり、ありがたいことに、毎日、自然の恵みを感じて過ごしてきた。

しかし、自分の半生の期間だが、なんだか大きな変化を感じてもいる。小学校まで豪雪地帯の和賀仙人というところで育ったが、一晩で1メートルもしんしんと雪が降り（本当に音がする）、電線をまたいで歩くほど雪が積もった年もあった。田んぼにはタガメやドジョウが泳ぎ、トンボで埋め尽くされた空があり、夜には無数のホタルが舞っていた。学校から川に直行し、川魚が手掴みできる川があった。その後、玉山村好摩にあった会社に就職したが、真冬にはしょっちゅう、寮から会社までのわずか100メートルの間でも鼻毛がガサガサ凍る音がした。現在住んでいる八幡町の通りも、30数年前の冬は10cm厚ほどの氷の道だった。網張スキー場もリフトの下の除雪なしでは運行できなかった。

でも、なんだか変わってきた。網張はリフト下の除雪どころか、真冬でも土が出ている年がある。八幡町の通りが凍る事はまずなくなった。鼻毛が凍るマイナス15℃以下になる事は、もう皆無に近い。あれほどのトンボやホタルはどこにいった？日本で、2番目にゆったり土地を使っている岩手でさへこのありさま。他の地域では、自然を身近に感じる事が難しくなっているところも多いだろう。

だが、幸いにも、わが岩手には、まだまだ、いにしえからの自然を感じられるところが多々残っている。これらを残していくのは我々の責任だ。でも、何をすればよいのだろうか？微力ながらも何かやらねばと時々考える。答えは見つかっていないが、一つには共感できる人を増やしていく事ではないかと考える。そのためには、自分なりにもっと季節や自然を感じるのが第一歩と思う。春夏秋冬それぞれ好きだが、やはり岩手は冬が似合うかな。その冬の間山々をスキーで歩いてみたい。それがこの会への入会動機でした。これからも、もっともっと、岩手を楽しんでいきたいです。

今後の日程 (2017/9/1~2017/10/4)

行事		行事	
9/1		18	
金		月	
2	8/28~9/3 No.416 福山茂和	19	9/18~9/24 No.385 小田嘉洋
土		火	
3	▲創立記念山行/岩手山、姫神山 (山行企画)	20	
日		水	
4		21	
月		木	
5	☆第6回常任理事会(県連)	22	
火		金	
6	9/4~9/10 No.433 岡 義博	23	▲一切経山・磐梯山(山行企画)~24日 ▲秋田県境(県境)~24日 ▲源太ヶ岳から三ッ石山(名山)
水		土	
7		24	
木		日	
8		25	
金		月	
9	▲虎毛山(四季)~10日 ▲秋田県境(県境)~10日	26	9/25~10/1 No.279 松田幸久
土		火	
10		27	◎9月例会(勤労福祉会館)18:45~
日		水	
11		28	▲秋田駒ヶ岳(ウィーク)
月		木	
12	9/11~9/17 No.455 大倉 博	29	
火		金	
13	◎運営委員会(勤労福祉会館)18:45~	30	
水		土	
14	▲八幡平(スケッチ)	10/1	▲八幡平(組織)
木		日	
15		2	
金		月	
16	▲浅草岳・蒲生岳(個人)~17日 ▲会津駒ヶ岳・帝釈山(個人)~18日	3	10/2~10/8 No.002 渡邊健治
土		火	
17	▲岩神山(ゆうゆう)	4	
日		水	

- ◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)
- ◆山行管理専用アドレス: morioka_yamakan@freeml.com

今後の山行計画

* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 岩手山 2038.2m (2017年)			企画	山行企画部
実施日	9月3日(日)	地形図	(1/25000) 大更 姥屋敷	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう			
締切り	8月21日(月)	打ち合わせ	8月23日(水)場所:例会専門部会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先 ☎ 080-1842-3586			

【山域/ルート】 姫神山 1123.8m (2017年)			企画	山行企画部
実施日	9月3日(日)	地形図	(1/25000) 渋民	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう			
締切り	8月21日(月)	打ち合わせ	8月23日(水)場所:例会専門部会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先 ☎ 080-1842-3586			

【山域/ルート】 虎毛山(秋田/神室連峰)			企画	四季の山
実施日	9月9日・10日(土・日)	地形図	秋の宮・鬼首峠(1/25000)	
目的	テント泊で東北百名山の山に登る			
難易度	歩行:★★	荷物:★★	技術(無雪期):★	
コメント	冬の小屋泊まり山行に備え、テント泊を経験しましょう。 山頂に広がる湿原を楽しみましょう。			
締切り	9月1日(金)	打ち合わせ	9月4日(月) おでつて 2F 18:30	
問合せ	日比野保子	連絡先 : TEL019-662-3669 090-7560-3669		

【山域/ルート】 秋田県境を辿る			企画	県境の風
実施日	9月9日(土)～9月10日(日)	地形図		
目的	県境 P959 から南 P877(県境区間 7.1Km)			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★★	
コメント	テント泊をし、古道を歩き、東山から大森トンネルまで繋ぐ			
締切り	9月2日(土)	打ち合わせ	9月4日(月)場所:おでって2F18:30～	
問合せ	高橋 陽子 連絡先: TEL080-1842-3586			

【山域/ルート】 八幡平			企画	心のスケッチ山行クラブ
実施日	9月14日(木)	地形図	八幡平(1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	頂上から草の湯分岐まで周回してみませんか			
締切り	9月7日(木)	打ち合わせ	9月11日(月)18:30～場所:おでって2F	
問合せ	工藤敬子 019-635-3203 (FAX 可)			

【山域/ルート】 丹沢縦走			企画	県連
実施日	9月15日(金)～18日(月)	地形図	丹沢(1/25000)	
目的	県連合同県外山行			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	1日目 西丹沢～檜洞丸・蛭ヶ岳山荘泊 2日目 蛭ヶ岳～丹沢山・塔の岳・鍋割山～箱根温泉山荘泊 3日目 金時山 参加費¥48,000 定員30人			
締切り	7月30日(日)	打ち合わせ	後日	
問合せ	連絡先 : 千田勝則TEL019-635-0201 渡邊健治 090-9634-2257			

【山域/ルート】 浅草岳 1585m 蒲生岳 828m			企画	千田勝則
実施日	9月16日(土)17日(日)	地形図	守門岳・只見(1/25000)	
目的	東北百名山			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	浅草岳は新潟県側から登ります。蒲生岳は会津のmatterホルンと呼ばれる。			
締切り	9月6日(水)	打ち合わせ	9月11日(月)18:30～場所:おでって2F	
問合せ	千田勝則 019-635-0201			

【山域/ルート】 会津駒ヶ岳・帝釈山			企画	武田秀雄
実施日	9月16日(土)～18(月)	地形図	会津駒ヶ岳・帝釈山(1/25000)	
目的	福島県の名山に登る			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	17日;会津駒ヶ岳、18日;帝釈山で、宿2泊します			
締切り	9月7日(木)	打ち合わせ	9月11日(月)おでって2F 18:30	
問合せ	武田秀雄 連絡先::TEL 663-3777またはメール等			

【山域/ルート】 岩神山 1.103.0m			企画	ゆうゆう
実施日	9月17日(日)	地形図	(1/25000)区界・松草	
目的	“ゆうゆう“歓迎山行!新しく会員になられた方大歓迎			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	ゆっくり山を楽しみましょう!			
締切り	9月9日(土)	打ち合わせ	9月11日(月)おでって2F18:30	
問合せ	連絡先::TEL 岡 090-6542-8871			

【山域/ルート】 一切経山 1,948m 磐梯山 1816m			企画	山行企画部
実施日	9月23日(土)～24日(日)	地形図	(1/25000)磐梯山、東吾妻	
目的	福島の名山に行く			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	泊りは車で行けるテント場か貸別荘とします。2山は日帰り山行です			
締切り	9月10日(日)	打ち合わせ	9月11日(月)おでって2F18:30	
問合せ	連絡先:古川孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp			

【山域/ルート】 源太ヶ岳から三ツ石山			企画	岩手の名山あるこう会
実施日	9月23日(土)	地形図	松川温泉・篠崎(1/25000)	
目的	岩手の名山で紅葉を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★★	技術(無雪期):★	
コメント	松川温泉から源太ヶ岳・大深岳・三ツ石山と裏岩手の縦走路の一部を歩きます。一足速い紅葉に出会えるかも。松川温泉に下ります。			
締切り	9月16日(土)	打ち合わせ	9月19日(火)おでって2F 18:30	
問合せ	日比野保子 連絡先::TEL019-662-3669 又は 090-7560-3669			

【山域/ルート】 秋田県境を辿る			企画	県境の風
実施日	9月23日(土)~9月24日(日)	地形図		
目的	須川から大薮山、その先行けるところまで			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★★	
コメント	テント泊をし、大薮山、上鉢山を目指す			
締切り	9月16日(土)	打ち合わせ	9月19日(火)場所:おでって2F18:30~	
問合せ	高橋 陽子 連絡先: TEL080-1842-3586			

【山域/ルート】 秋田駒ヶ岳			企画	ウィークデイクラブ
実施日	9月28日(木)	地形図	秋田駒ヶ岳(1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	コースは参加者で決めたいと思います			
締切り	9月21日(木)	打ち合わせ	9月25日(月)18:30~場所:おでって2F	
問合せ	連絡先:工藤敬子 019-635-3203 (FAX 可)			

【山域/ルート】 八幡平(秋田側)			企画	組織部
実施日	10月1日(日)	地形図	八幡平(1/25000)	
目的	フォローアップ登山			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期)★	
コメント	登山教室に参加された方のフォローアップとして八幡平山頂から大沼温泉まで歩く予定です。会員の方も参加下さい。			
締切り	9月17日(日)	打ち合わせ	9月20日(水) おでって2F 18:30	
問合せ	福山茂和 連絡先 :TEL090-7063-0788 SMS 可 パソコンメールも可			

あかげら 9月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは9月10日(日)です。
 なお、フォーマットは**会員専用 HP 左下の様式ダウンロード**を御利用ください。

2017年度 第5回運営委員会報告

(出席者数：17/23名)

2017.8.9(水)18:45~20:15 勤労福祉会館

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小野寺 小田(嘉) 中村(数) 松田(幸)
千田 古川 山田 小川 辰巳 渡部(彩) 岡(義) 大倉 大森

【進行：中村(美) 記録：中村(美)】

1 会長あいさつ

会員の手引きの見直しを考える中で、そもそも「山岳会ってなんだろう？」と原点に帰ると、結局は「学びの場」ではないかと思う。

2 報告事項・確認事項

(1)現在の組織状況(8月9日現在)

会員数99名(男54名/女45名)登山時報51部

退会者No,467 鎌田今代さん、 新入会者No, 477 佐々木善男さん、

(2)各専門部等の取組状況

①教育遭対部…8/20 8:30 集合 (登山靴での)岩登り訓練

②自然保護部…8月中旬に空中放射線量測定計画 ①岩手山 ②早池峰山

③会報部…○「あかげら」の発行方法に関するアンケート(案)→協議事項へ

○「山友第29号」(対象期間 H28.11月~H29.10月)の作業を開始します。

・あかげら8月号に原稿募集掲載、9月各専門部・志向別グループ等へ報告依頼

・10月下旬~11月中旬編集

(同時作業：あかげら11月号発行 11/22(水))

・11月下旬小松印刷所入稿、12/2(土)納山祭発行

④県連理事会…別記参照

3 協議事項

①事務局から…○9月以降のミニ講座について

・10月…「軽量化とパッキングについて」

・11月…「登山靴、その他登山用品の手入れについて」

○医療パックの中身について検討

・今までの外用薬・内服薬は個人装備とし、会の医療パックには器具類を入れることにする。

(詳細は、「事務局」からに掲載します)

医療パックの保管は分散し、使用し易くする。(保管者は未定)

②「あかげら」の発行方法に関するアンケートについて(総会資料に基づいて)

種々意見が噴出し、今回だけでまとめることは困難なため更に内容を検討し、さらに委員から提案のあった山友会のあり方などの希望や要求を盛り込んだアンケートとして検討することに。

③2017 全国ハイキング学校」への参加について

会からの派遣は、当会で行っている登山教室でも学ぶことができるので見送ることにする。

例会における司会・会場片付担当表

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

◆当面の予定

8月9日(水) 第5回運営委員会
8月23日(水) 8月例会
9月3日(日) 会創立記念山行
(岩手山・姫神山)

9月5日(火) 県連理事会
9月13日(水) 第6回運営委員会
9月27日(水) 9月例会

次回運営委員会 9月13日(水) 18:45~

原稿のお願い

9月号の原稿締め切り

◎ 9月9日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内 又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10~12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

□ 送り先 ◎手書き原稿 (郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

事務局から

☆ 会員動 8/11 現在)

会員数 99 名 (男 54、女 45) 登山時報 51 部

退会者 No.467 鎌田 今代さん(7月一杯で退会)

入会者 No.477 佐々木 善男さん(滝沢市在住 ケイタイ 070-2829-2145)

追記

No.475 亀田 英一郎さん 盛岡市小鳥沢在住 ケイタイ 080-3124-9320
No.476 亀田 金花さん " ケイタイ 080-3122-4613

☆ 医療パックの内容の変更 (8月の運営委員会をうけて) 今後この内容になります

サムスプリント2本 三角布1枚 はさみ1丁 キズ当てパット(大 中 小)
カット絆 毒吸引器(ポイズンリムーバー)と剃刀 手袋(ポリエチレン) 人口呼吸マ
スク 生理用パット ネット包帯(頭用 腕用 指用) テープ(伸縮用 固定用)

- * グループでの山行には、医療係は持参するようにしましょう。
消耗品は使用后、補充せず返却時にその旨を報告してください。

変更点

今までの外用薬、内服薬は個人的に必要とするものが違うため、各自が必要とするものを自分で用意することになりました。

例：外用薬…虫刺され かゆみ止め 筋肉痛 虫よけ など

内服薬…芍薬甘草湯(筋肉痙攣などに) 風邪薬 下剤 下痢止め

消化剤 下熱・痛み止め など

他、各自の常備薬など必要とするもの

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

9月例会は 9月27日(水) 18:45~

2017年度 第5回県連理事会報告

2017/8/1 (火) 19:02~20:00

花巻市学園都市会館2階 会議室

出席 渡邊健治・千田勝則・成瀬 寛 (文責)

理事長挨拶

夏山シーズン本番です。県外遠征について協議していきたい。(いわて生協山の会では)先週白馬から親不知・子不知を歩いてきた。

報告事項

(1) 経過報告 (省略)

(2) 奥羽・東北ブロック交流登山 (7月8・9日 鳥海山)

交流会：合計8団体29人 登山：合計9団体37人

- ・初めて行事で成功裏に終了することができた。交流会は盛大にできた。
- ・9日の登山は雲ひとつない晴天。残雪が多かった。
- ・ROUSAN 鶴岡は個人加盟の方々が数人で結成した組織で、やまがた山歩会と合せて四十数人の会である。
- ・胆江は足痙攣の故障者が出て全体と一緒にすることはできなかったが無事下山できた。

(3) その他

「ヤマケイ」から登山白書2017刊行。メールでチラシと申込書送信済み。

協議事項

(1) 県外合同遠征山行 (9月15-18日)

- ・現在集約の16名を開催ラインの30名にすることは困難なので今年度は中止とする。
- ・十二回目ともなれば山もコースも当然限定されてくるのが結果として出た。
- ・16名の申込があったわけだから、取り組みとしては失敗ではなかった。一定のリーズナブルなコストで参加できるメリット性を発揮できない。
- ・継続していくために、来年度に向けて十分な検討が必要。

(2) クライミングレスキュー技術講習会 (9月30日—10月1日)

- ・会場：北上展勝地
- ・宿泊：石鳥谷戸塚森森林公園 1棟6人用で2,500円(花巻民1,500円)3棟確保
- ・展勝地の石切場使用許可が下りるかどうかが微妙。会場決まり次第実施要綱田中理事から発信

(3) 全国ハイキング学校(越後湯沢)

全国連から各会への参加要請

(4) スキルアップ講座（ファーストエイド）講習内容

山のファーストエイド	CONTENTS
ファーストエイドって何？	山での病気
ファーストエイドの順序	大出血のコントロール
外傷の応急処置	ちょっとしたケガのトラブル
低体温症	搬送その他

- ・ 恵 秀彦講師謝礼 5 万円＋宿泊交通費
- ・ 会場：未定（候補として西部公民館又は滝沢総合運動公園）
- ・ 会場決まり次第実施要綱田中理事から発信

(5) その他

- ・ 第 1 回救助技術交流集会に参加する旅費補助として前例になるのが菅沼理事が参加した自然保護集会の場合 1 万円弱となっている。前例を再度点検する。
- ・ 9 月 9 ・ 10 日：RAM 主催のセルフレスキュー訓練については、RAM から要項を発信してもらう。

全国連盟が発行するメールニュースから、全国の最新の動きを抜粋で照会します。

▲△1：問題あり「防災ヘリの有料化」 浦添理事長名で埼玉県に要望書を提出

●慎重意見押し切り、自公多数により採択

埼玉県議会は、消防署が運行する防災ヘリによる山岳救助を来年1月から有料化する条例を自民・公明等の賛成多数で可決しました。これまでも長野県などで、過去に同様の動きがありました。実施されるのは全国で初めてです。

この問題での各団体の態度

- ・労山の態度→有料化で山岳遭難は減らない。県議会各会派に対して、決議しないよう要請。
- ・秩父観光協会／秩父山岳連盟→反対や慎重な検討を求める。
- ・小鹿野町議会→「現場に混乱をもたらす」との意見書を採択。

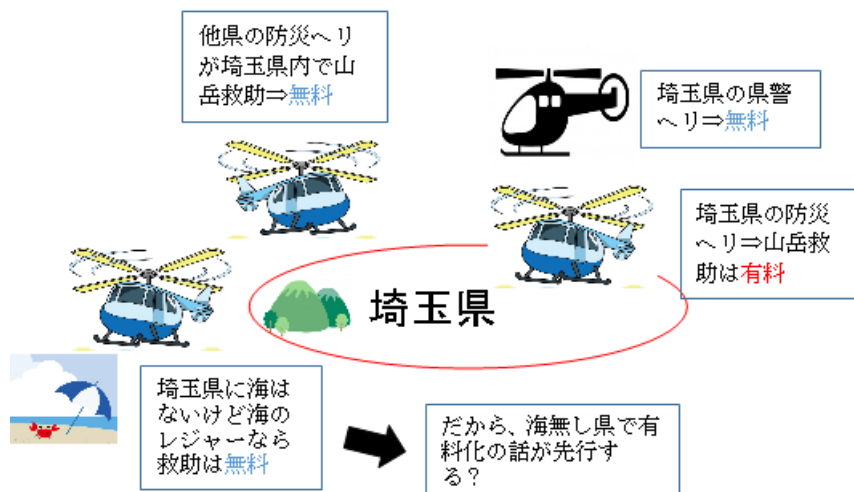
埼玉県防災ヘリ有料化条例

(埼玉県議会で自民党県議団が議員提案、公明などの賛成により 2017年3月27日可決)

※提案理由＝有料化により登山者の注意が喚起され、無謀な登山の減少につながる。

- ①埼玉県内の山岳で遭難し、救助を受けた登山者等は、知事が定める額の手数料を納付しなければならない(林業従事者や住民は適用外)。
- ②知事は、災害、経済的困難その他の特別の理由があるときは、手数料を減額、免除することができる。
- ③施行日 2018年1月1日

注 この条例は消防署が運用する防災ヘリについてだけ適用され、警察が運用するヘリには適用されない。



● 労山が再度、要望書を提出

条例は可決されましたが、具体的な運用規則など詳細は来年に向け、知事サイドで決められます。これまでの説明では、1回出動するのに必要な燃料代5万円程度の負担を登山者に求めるとされます。

これに対して労山全国理事会は、5月30日（火）、大澤辰雄副理事長と川嶋高志事務局長が埼玉県庁におもむき、条例実施にあたっての要望書を提出しました。

【労山の要望書の趣旨】

- ・有料化は遭難防止には役立たない。
- ・消防行政には国民の生命、財産を守る役割があり、条例は法のもとの平等に反する。
- ・被救助者の責めに帰すべきでない場合は、有料化の対象外とせよ。
- ・安全登山推進のため、県として登山道整備や登山の安全指導に取り組むべき。

当日、対応したのは所管課である危機管理防災部消防防災課の消防広域担当副課長加藤孝之氏と同担当主査東顕彰氏。30分にわたり趣旨説明や要望の実情を話しました。県庁側からは、鋭意告示内容を検討し知事決裁の後、来年1月1日には実施できるようにしたいと説明がありました。

条例を可決した埼玉県は、他県にも同様の動きが広がるのを期待していると伝えられます。実際、山梨県でもこうした話が出ましたが、とりあえず導入を見送りました。しかし、今後も見すえ、登山者の側でも取組みを強めることが必要です。ぜひ、各地方連盟でも討議を深め、埼玉県を初めとする地方自治体当局に要望書を提出していきましょう。

▲△2： リニア新幹線問題で検討委員会発足

東京都と名古屋を結び、南アルプスの真下を貫くりニア新幹線（トンネル工事）については、2014年10月12日の第17回全国登山者自然保護集会（静岡県）で、同計画の凍結を求めるアピールが採択されました。リニア新幹線は、ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）に指定される南アルプスの山々の真下に10.7kmものトンネルを掘り、それによる水源の枯渇や、貴重な動植物など生態系に影響を与えることが心配されています。一度破壊された生態系や自然景観は、元に戻りません。また、トンネル建設から排出される残土の処理先や、もしも中央構造線や糸魚川～静岡構造線の活断層での巨大地震が発生したら、などの懸念もあります。

労山は、設立当初から自然保護を課題として掲げてきましたが、この問題に関して検討を深める「リニア新幹線問題検討委員会」を設置し、6月5日に第1回委員会を開催しました。委員には、浦添嘉徳理事長、花村哲也副理事長、久保典子理事、竹本幸造理事、山本尚徳理事が選ばれ、委員長に浦添氏、事務局長に竹本氏が就任しました。今後は、さらに委員会メンバーを募り、南アルプスの現地調査も行って、取組みを強めていきます。

専門部報告

● 組織部

初級登山教室報告

組織部 福山茂和

1、従来と変わった点

机上講習は一日で全ての講習を実施していたが、今年は3日間に別けて18時半から盛岡駅前のアイーナにて実施しました。

2、参加者

女性 8名 男性 2名の計10名、但し女性1名の方は初回の机上講習受講後に本人都合でキャンセルとなり最終的には9名でした。なお、参加者の年齢は22歳から59歳までで、平均年齢40歳と全体的に若い方の参加でした。また、会員からも2名の方が参加されました。

3、実技山行別の参加者

山名	一般受講者	会員受講者	スタッフ	合計
鞍掛山	8	0	11	19
三ツ石山	8	2	14	24

4、実技山行について

- ・鞍掛山、三ツ石山ともに一般参加者全員の登頂を達成しました。
- ・三ツ石山荘にて、途中で採集した姫竹入りのラーメンを作りました。
- ・三ツ石山の山頂へのルート上には残雪も残り、一般参加者の方は貴重な経験となったようです。

5、会計報告

収入 5千円×10名で5万円

支出

項目	通信	印刷	会議室	駐車場	車両	資料	保険	その他	合計
金額	598	2,620	8,340	3,100	12,000	18,000	4,080	994	49,732

差額の268円は会の会計へ

6、アンケート回収結果（6名の方から回収）

I、参加しての感想は下記の項目について確認しましたが、(5)で1名の方が「あまり達成出来なかった」と回答した以外は全員が「とても良い」でした。

(1) 全体的な印象 (2) 講座のレベル (3) 満足度 (4) 講座運営 (5) 自己の目標達成度

II、机上講習の内容について

(1) 登山の基本

- ・登山のマナーや基本的知識について改めて学ぶことが出来ました。

- ・登山のリスクについて、地形的危険、気象的危険、人為的危険があることを学び、体調を含め山行計画書などの準備の重要性を再確認することが出来ました。
- ・登山に必要な基本的知識を学ぶことが出来ました。

(2) 登山の用具

- ・実際の山行の中で道具の必要性や機能性をもっと学んでいきたい。
- ・登山用品店で、たくさんの品物を見ながら店員さんに説明を受けて、はじめて講習の内容も理解できた。
- ・登山の準備として、自分の登山スタイルに適した用具を選ぶことの重要性について学んだ。
- ・実際に用具を見せていただき、必要なもの、また安いもので工夫する方法などが分かって助かった。

(3) 山の天気

- ・登山に行く際に実際に活用できる Web サイトなどを具体的に教えていただいたので、今後の参考にしたい。
- ・雷の対応についても知ることが出来て参考となりました。
- ・天気図の見方が良く理解出来なかったが、重要な情報を得るためにも勉強します。

(4) 地図の活用

- ・今回のメインである地図読みについて理解することが出来た。また、地図のケースや風による紛失防止について教えて頂き参考となりました。
- ・初めてコンパスの使い方を知って楽しかった。
- ・地図に慣れることで楽しみも増えることが理解出来た。

(5) 危急時の対応

- ・予防策は判ったのですが、いざという時の対処方法に不安がある。
- ・雨や汗による濡れから起こる体温低下の危険は、これまでの山行で身をもって感じていたところです。予防の大切さ、対策としてのレイヤリングや雨具の常備について学ぶことが出来て参考となりました。
- ・気を付けることなどを判りやすく説明していただき、判りやすかった。

(6) トレーニング

- ・自分の体を良く知った上で、日々のトレーニングに励みます。
- ・実際に行っている日常的なトレーニングのお話もあり、とても楽しかった。
- ・特に下山後のケアとして、ストレッチの方法やアイシングの必要性について知ることが出来て、とても参考になりました。

Ⅲ、実技山行

(1) 鞍掛山

- ・天気は雨でしたが道具等についての講習のおかげで、安心して登山に望むことができた。
- ・雨が降る中の山行で、やや不安もありましたが、カップの使い方や衣服調整のタイミング、方法など、細かく教えて頂ける機会となり、とても参考になりました。
- ・変わりやすい山の天気と備えての事前の準備の必要性を実感出来た。
- ・初めての登山でどうなるかと心配でしたが、皆さんがとてもフレンドリーで楽しく登れた。
- ・雨具の脱着のタイミングや、雨具の重要性を認識する山行となった。
- ・机上では理解したつもりだった地図読みですが、実際にやってみると戸惑い、スタッフの方の指導で理解することが出来ました。また、笹笛 おもしろかったです。

(2) 三ツ石山

- ・残雪の歩き方についても学ぶことが出来た。
- ・山頂からの360度の眺めが素晴らしかった。
- ・今まで登ったことの無い高さの山でしたが、スタッフの方が色々とおアドバイスをくださり、楽しく登山することが出来た。
- ・天候にも恵まれ達成感もあり充実した一日でした。
- ・残雪歩きは、恐怖感よりも感動が大きかったです。
- ・山頂で岩に上って、ラーメンを食べて、山道の花をみて、常に楽しい登山になりました。
- ・姫竹入りのラーメン絶品でした。(皆さん、おいしかったとの感想が)

Ⅳ、全体を通しての感想等

- ・今の時代、ネットでリアルタイムで情報収集が可能ですが、現場に入らないと気づかないことが多く、たくさん学ぶことが出来ました。
- ・座学だけでは学べられない実技山行はとても勉強になり、次へとつなげられる自信にもなりました。
- ・机上講習の内容を実際の山行で活かすことができ、とても良かったです。
- ・机上での講習、実技山行も初心者の方にとっては、とても十分な内容で登山を本格的に始めるいい機会となったと思います。

● 会報部

「山友」第29号の原稿を9月より募集します！

募集内容

○山行報告、エッセイ、俳句、川柳、短歌、詩 等

○今年もやります♪ 「全員アンケート」

○山の風景 カラー写真

○新入会員のひとこと など

★締め切り 平成29年10月25日（水）例会時

原稿の提出先、方法など詳しいことは、あかげら9月号でお知らせします。

みなさんからの投稿をおまちしております。

志向別グループからの お知らせ

◆ 岩手の名山歩こうかい&四季の山

岩手の名山歩こうかいと四季の山の集まりを下記の日程で行います。

11月以降の予定を決めます。

9月20日（水） 勤労福祉会館 18時30分～

行ってきました!

7月17日～8月13日現在]

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
1	7月15日 ～7月17日	至仏山・尾瀬ヶ原	鳩待峠～山の鼻小屋～ヨッピー～美晴～竜宮～山の鼻～至仏山～小至仏～鳩待峠	レジャー	S小原(耕)〔会員外〕4名	1	個人
2	7月17日	早池峰	河原ノ坊コース	河原ノ坊コース調査(グリーンボランティア)	本間(典)〔会員外〕10名程度	1	他団体
3	7月17日 ～7月19日	飯豊山	絨川口～三国岳～飯豊山避難小屋～飯豊山～大日岳往復	夏山を楽しむ	L大峠	1	個人
4	7月18日	岩手山	柳沢コース	心のスケッチ	L工藤(敬)・S中村(美)・北田・級木	4	会
5	7月19日	秋田駒ヶ岳	国見温泉コース	トレーニング	L福山〔会員外〕1名	1	個人
6	7月19日	秋田駒ヶ岳	国見温泉コース	トレーニング	L岡(義)	1	個人
7	7月20日 ～7月23日	樺海新道	蓮華温泉～白馬岳～雪倉岳～朝日岳～黒岩岳～白鳥岳～親不知	アルプスと日本海をつなぐ樺海新道のロングトレイルに挑む	日比野・加藤(桂)〔会員外〕6名 ※いわて生協山の会企画	2	他団体
8	7月21日	岩手山	焼走りコース(第2噴出口まで)	コマクサ撮影とトレーニング	L川村(雅)	1	個人
9	7月22日	七折の滝→たたら山	嫁ヶ淵ピストン→たたら山周辺	自然保護に関する観察会を開催する	L岡(義)・S三澤・川村(雅)・北田・級木・山崎(祐)・大倉	7	会
10	7月23日	大松倉山・犬倉山	網張りフト～犬倉山～大松倉山往復	山頂からの眺望を眺めましょう。	L岡(義)・S石原・吉田(成)〔会員外〕1名	3	個人
11	7月26日 ～7月30日	槍ヶ岳	上高地～槍ヶ岳～常念岳～上高地	槍に登るぞ～	L中根・大倉〔会員外〕1名	2	個人
12	7月29日	焼石・南本内岳	中沼コース	焼石の花を楽しむ	加藤(桂)〔会員外〕7名 ※いわて生協山の会企画	1	他団体
13	7月30日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L福山〔会員外〕1名	1	個人
14	7月30日	源太ヶ岳	松川温泉コース(お花畑周回)	お花畑を見に行きましょう	L熊谷(久)・S級木・遠藤(千)・吉田(成)・柏木・吉田(菊)	6	会
15	7月30日	尾瀬ヶ原	鳩待峠～尾瀬ヶ原周回	尾瀬の自然を楽しむ	L渡邊(健)〔会員外〕3名	1	個人
16	7月30日 ～8月2日	荒島山、恵那山、雲取山	勝原ロピストン、黒井沢ロピストン、三峰神社ロピストン	関東の山に登る	L小田(嘉)・小田(春)	2	個人
17	8月1日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L大峠	1	個人
18	8月2日	岩手山 (2,038.2m)	柳沢コース	トレーニング	L巖地・山田(純)	2	個人
19	8月4日 ～8月5日	岩手山 (2,038.2m)	網張コース(鬼ヶ城)	鬼ヶ城を歩く	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
20	8月5日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L渡邊(健)・石原	2	個人
21	8月5日	泥湯三山	泥湯温泉～小安岳～高松岳～山伏岳～泥湯温泉	スキーの下見を兼ねて夏山登山	L松田(幸)・S久保・松田(希)・杉澤	4	個人
22	8月5日	秋田県境(東山7合目付近)	東山3合目口～7合目分岐～P1115往復	県境ルートの下見	L本間(典)・S中村(数)・加藤(桂)・小田(嘉)	4	個人
23	8月6日	南本内岳 (1,486m)	中沼コース	岩手の名山を歩く夏のお花を見に行きましょう	L熊谷(久)・S遠藤(千)・川村(雅)・石澤・日比野・級木・北田・吉田(菊)・舟越・小野(由)	10	会
24	8月11日	鶏頭山、早池峰	岳～鶏頭山～早池峰～小田越	フチ縦走	L舟越	1	個人
25	8月11日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L熊谷(久)・S日比野	2	個人

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください

山 行 報 告

月 山

No.301 久保 加世子

日 時：2017年7月15日（土） 曇り時々晴れ

メンバー：CL久保 他会員外1名

行 程：盛岡 IC 4:00 ～ 北上金ヶ崎 IC 5:00 ～ 姥沢駐車場 9:00 ～ リフト乗車
9:35 ～ 牛首 ～ 月山頂上 12:30/13:15 ～ 牛首 ～リフト乗車 15:20 ～
姥沢駐車場 15:55

冬山をよく一緒に滑るスノーボーダーの友人と「夏山女子会をしよう！」という何年越しかの約束を実現すべく、月山の計画をたてた。今回の目的はクロユリを見ること。二人ともクロユリを見たことがない。山形の知人から一週間前に見たという情報をもらったので、大丈夫かな、と思い月山へと向かった。

天気予報では雨も心配されたが、姥沢駐車場に着くと青空も見えまずまずのお天気。協力金200円を払い、往復のリフト券を買ってリフトに乗った。姥ヶ岳にはまだ雪が多く残り、大勢のスキーヤーやボーダーが滑っているの見える。さすが、夏スキーのメッカである。

リフトを降り、姥ヶ岳には向かわず木道を進む。暑さを心配したが残雪を渡る風が冷たく、涼しい。「山頂の北斜面を滑る」とボードを背負って登ってきた3人組の男性グループが軽やかに歩いて追い越して行った。



しかし、今年はやはり雪が多い。牛首に向かう斜面も大雪渓である。このころにはガスがかかり前方が良く見えなくなったが、ロープが張ってあるのでルートロスをする心配はない。滑落はしたくないし、安全のため軽アイゼン（6本爪）をつけて登ることにした。友人は初の軽アイゼンとのこと。途中、木道でははずし、またつけるということを2回ほど繰り返した。

牛首に着くと姥ヶ岳から登ってきた人たちと合流し、また、インターハイに向けて

練習中と思われる高校生登山部の団体が何組か下山してきたりと、人が多くなってきた。牛首から鍛冶月光に向かう途中にも雪渓があり、ここは私たちはアイゼンなしで登ったが、登る人と下る人とでやや渋滞となった。

急な鍛冶月光をゆっくりと登る。ここは、ハクサンフウロが咲いており癒される。時折、青空も見え、雄大な景色も堪能しながらなんとか登りきり、芭蕉の句碑がある山頂付近の平地に出た。

いよいよ、クロユリ！ とキョロキョロしながら歩くが・・・見当たらない。周囲を歩いている人からも見えたという声も聞こえない。う～ん。。



山頂小屋を経て山頂に到着。ここまでにたくさんの花々が咲いていたが目的のクロユリは見当たらない。下山してから調べたところ、今年はネズミの被害で花の数かなり少なかったよう。クロユリはまた来年以降のお楽しみとなった。

昼食後、山頂神社を参拝（祈祷料 500 円）し参拝認定書をもらう。

山頂神社にはここでしか買えない山バッチやお守りなどがあり、御朱印もいただける。御朱印は前回登った時にいただいたので今回はお守りを購入して下山する。ここまで、ちょっと時間がかかっていたので、姥ヶ岳にはいかず往路を下山することにした。下山時は雪もだいぶ緩んでいたもので、雪渓ではアイゼンはつけず、「このくらいの雪渓ならまだ十分滑れるよね」などと会話をしながら、転ばないように気をつけながら下った。

目的のクロユリは見られず残念であったが、次は泊まり山行をしようと盛り上がった夏山女子会であった。



初めての北アルプス・槍ヶ岳

No.455 大倉 博

初めての上高地、槍ヶ岳心弾ませ 10 時間近く懸けて夜着いたら雨が降り出していた。途中はあんなに天気が良く週間予報も良い筈だったのに。朝まで、車で仮眠することにした。

翌朝早く出発する予定だったので、暗いうちに目が覚めて見るとまだ小雨が降っている。決行するか中止するか相談するが、せっかく長時間かけて来たのだから決行することにした。パッキングしている最中に、中根さんから私の昼食分の食料が、多すぎると指摘を受け半分くらい置いて行くことにした。

駐車場のある沢渡からタクシーに乗り、上高地バスターミナルで降りた。いよいよこれから、槍ヶ岳登山の始まりだ。ほどなく歩いて行くと、日本有数の景勝地である、梓川に掛かる河童橋が見えてきた。小雨と霧に包まれていたが、テレビや雑誌などで良く見る風景は懐かしい様な気がしたがやはり本物に感動した。川の水は透き通っていた。岩手の安家川など綺麗な川と比較して苔などがなく、魚が棲めるのか疑問に思った。

河童橋で記念写真を撮り、奥上高地自然探勝路、ほぼ平らな道を上流に向かい淡々と進む。周りの山は霧のため、梓川対岸位しか見えない。平日の雨降りとあってか人通りは、予想よりずっと少ない。

3 時間半位で横尾に到着する。ここからいよいよ、槍ヶ岳に向い本格的な登山になる。梓川沿いに登って行くと川幅が狭くなる。槍沢ロッジで休憩し、飲み水 2 リットルを各自リックに詰め登り始める。遠くに大きいシャクナゲが咲いているのが見える。ババ平、大曲と進む、この辺でザックの 3 泊分の食料、テント用品等の 20 kg 近い重量が肩にズシリとのし掛かってきた。それでもゆっくり、喘ぎながらではあるが、高山植物を眺めながら、又雪渓に注意しながら殺生ヒュッテのキャンプ場に到着した。

キャンプ場は大きい石ころだらけの所を少し平にした場所であった。10 数個のテントがすでに張っており、私たちが最後の到着であった。二人のベテランの指示で素早くテントを張った。

今まで曇って顔を見せなかった槍ヶ岳が、その後突然姿を見せた。急いで記念写真を撮った。明日はあの山に登るんだ！！



翌日暗いうちから起き出し準備を始めたが小雨が降っていた。合羽を着てガラガラ

の岩礫山道を槍ヶ岳の登り口である「槍ヶ岳山荘」に向かった。

雨が強くなって来た、ザックを山小屋に置き槍に登り始めた。雨のせいか登る人は数人しかいない。急こう配の岩、梯子を4か所登り30分位で頂上に着いた。苦勞して長時間歩いて来た甲斐があった。周りが霧のため見えないのが少し残念。



山小屋で記念のバッジを買い、東釜尾根を進む、途中の休憩した所で猿が現れる、親子連れで子猿が可愛い。餌をねだっている様に見えた。西岳・赤岩岳を通過、次の宿泊地である大天荘のキャンプ地に着いた。皆長時間の歩行で疲れが見え始めていた。テントでは、ぐっすり眠った。

29日も朝暗いうちから起き出し、ヘッドライトを付け出発した。昨日の険しい道とは違って、道も良く傾斜もあまりきつくない所を進む。途中、東天井岳を過ぎた辺りで朝食、インスタントの豆ごはんを食べた、とても美味しかった。3時間で常念小屋に着いた。ここで20分休憩し、百名山の常念岳に向かう、近づくとき大きなごま石があり、上下の段差で歩きにくい。頂上は畳1畳位ですごく狭く足場が悪い岩場だ。他のグループも数人いたが、写真を撮るのに順番待ちだった。



次の目的地蝶ヶ岳に向かう。長い道のりが続き、森林限界より下に降りてきたように高い木が見え出したのでかなり高度を下げたと思ったが、緯度が低いためあまり下っていなかった。まだ2500m位の高さだ。常念岳から4時間歩き疲れがでたので、予定を変更して蝶ヶ岳には行かず横尾に降りることにした。

横尾で一泊し、朝のうち上高地に着き登山の終わりとした。

今回の登山は、私にとって3泊もする旅であり、反省する所や教えられて勉強になることがいっぱいあった。体力があると思いきや高低差や歩行時間、荷物の重量を頭に入れなかったこと。キャンプでの寝袋・マットのしまい方など、自分のことで一杯だった。次の登山は今回の経験を生かしてより良いものにしたいと思う。



引導渡された荒島山と観光旅行

No.385 小田嘉洋

日程：2017年7月30日～8月1日

天候：曇り

メンバー：小田、小田（春）

コースタイム：

- ① 荒島山登山口 5:55→ リフト終点 6:30→ シャククナゲ平 8:30→ 頂上 10:07
- ② 美ヶ原散策
- ③ 上高地散策
- ④ 上田市散策（真田丸）

この荒島山は昨年計画したが、途中で天候不良のため一連の山行を中止した。今年こそはと思って計画したが、netによると高度や高低差のわりに大変な山とみた。“ぜいぜい、もうこんな辛い山、知りません”とか何件か載っている。

仙台からフェリーに乗り翌朝名古屋に着き、大野市で翌日の買い物をし、登山口の勝原駐車場に入った。駐車場には1台のバスと10台程度の自家用車が停まっている。暫らくぶりの車中泊で緊張と細かい虫に悩まされながら朝を迎える。



合羽をつけるかどうか微妙な天気の中、つけないまま出発する。今は使用されていない舗装されたスキー場の廃道を進むと直ぐに舗装がなくなる。一時間ぐらい歩いたところに小休み所があり、一息入れる。ここに登山口の標識が立っている。

また、netの書き込みより楽かなと思いながら進む。ここからは所々、長い階段が続くが、壊れていて歩きにくく、歩幅も合わない。だが“よいしょっ”と上がる岩場よりはました。林間で直射日光は当たらないがさすがに水の消費は進む。途中水場と書いてあるところに出るが、どうも飲めたものではない。今日は意識して1Lの予備を持ってきたので木の下にデポして出発する。

相変わらず、長く壊れた階段が所々に出てくる。歩き始めて2時間半程すると、徐々に今年のトレーニング不足が響いてくる。ガマンガマン…(>_<)

シャクナゲ平で小荒島岳からの中出ルートと合流する。日が当たる場所なので休まず歩き続ける。少し下ってまた登りとなる。

滑落注意の大きい看板があるが、ロープ、鎖等があつて特に心配はいらない。こん

なところで滑落??

10時すぎ頂上到着。

頂上からの期待していた展望（白山）はガスに阻まれ、なし。筐の中にフウロとクガイソウが沢山咲いていた。

百名山の割には人が少ない。1組のカップルだけだ。20分ほどいるうちに1人登頂。夏休みの日曜日。天気も登山日和。うそー！ 登山道でも登り下りで10組程度のすれ違い。

13:50 駐車場に下山。その直前にまた雨に会わず濡れになる。

連れに言わせると“息切れもひどく、顔色が真っ青”の状態で登ったにしては、余りにも感動がない山だった。（ま、これは眺望を得ることができなかったせいだろうが）また、ワタクシ的には疲れるには疲れたが、コースタイム通りに歩いたよ。と言いたい。Netの記録には5時間近いものもあるし。が、「自分の実力以上の計画を立てない事」と、ついに引導を渡された。まあ、それはそれで今後の登り方を考えて見るのもいいか。

そんなことで、明日、明後日の台風の進路を考え、傘でも散策可能な、美ヶ原と上高地を散策することにする。

31日、美ヶ原は今にも雨が落ちてきそうな天候だったが、観光客がいっぱいいる。私はスニーカー、連れは登山靴で駐車場を出発する。広大な高原牧場という台地を美しい塔経由で王ヶ頭までを、往復する。登山靴をはいたグループも多い。



片道1時間ちょっとのコースを往復する。ガイドブックによると北・南・中央アルプスの大パノラマが望めるはずだが、こちらもありにくの曇だ。アザミの色が妙に鮮やかなのが目立つ。その後隣の美ヶ原美術館を覗いたが、こちらは広い館外の彫刻・オブジェと周囲の山並みが素晴らしい。広大な土地に加えて、一つ一つのオブジェの見ごたえ・大きさはまた来てもいい。

8月1日、今日は上高地の散策だ。天気が良く、ここに泊まるのなら徳沢・横尾あたりまでの往復もいいだろう。天気も雨との事で明神池までとし、大正池でバスを降り散策を開始する。

焼岳の噴火でできた池の立ち枯れた木々は、土砂の流出らしいが、思ったより少ない（連れは初めて来た時よりかなり減った、



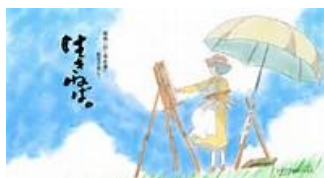
と言う)が、梓川の水と流れは素晴らしい。また、河童橋からの眺めは吊り尾根こそ見えないが岳沢には雪が残り、右に明神岳が望めた。ビジターセンター経由で明神池に向かう。すれ違う人は槍・穂高、常念岳からのようだが、真っ黒く日焼けし、疲れも見える。そして皆充実した笑顔だ。うらやましい。同じ方向に歩いている女性に訊くと「孫の世話が終わり 5 年ぶりに来ました。今日は横尾泊まりです」涸沢から奥穂を目指し岳沢に下りる予定、という。同年齢と見たが、連れは「かなり経験のある人だろうけど、自分のペースで歩く姿に勇気もらった。私も、もう少し歩けるかな」と言う。



明神池の嘉門次小屋につき、昼食に日本そばをいただく。なぜか前に読んだ“槍ヶ岳開山”が思い出され嬉しい気持ちになる。帰りは右岸をバスターミナルまで戻る。

翌日は昨年大河ドラマ「真田丸」の上田市を観光して帰る。

“<風が吹くと・・・>”



「風立ちぬ！いざ、生きめやも」*1ということばがある。宮崎駿監督の映画『風立ちぬ』の題名にも使われた。もともとはフランス詩の一節。風は<吹く>ものだ。風が<立つ>となるとふつうではない。原文はフランス語。原文に忠実であれば、<立つ>でもいい。そう思って、フランス語を見る。英語で get up と訳されるフランス語になっている。人は眠りから覚め、さ

あ、起きようというときの動きだ。<立ちぬ>というフランス語は横たわっていた身体を起こすという意味だ。横たわっている人が、立ち上がる運動。眠っている人が目覚めて、さあ起きようかなという動作。だが、ここで立ち上がるのは人間でなく風だ。だから風が吹くという意味になる。だが、単に風が吹いてきたのではない。横たわっている静の時間から、身を起こす動への切り替えの瞬間に吹く風なのだ。「風が立ち上がった」という表現には何らかの意味が込められている。では、そのただの風じゃない風とはいったい何だろう。

次の<生きめやも>も古風な言い回しだ。<古い風>というと、古臭い感じになるが、<古風>（こふう）となると印象がよい。言い回しの変化で意味も変わる。古風にはなんとなく優しさがある。この古風なく生きめやも>の言い回しには、生きねばならないのだが、だめかもあるなあ・・・という微妙なころの揺れがある。映画の宣伝文は明快で、<生きねば>とわかりやすい。生か死か、それが問題だという悩みがない。現実には生きたいのに生きられないとか、死にたいのに死ねない状況が生まれる。迷いつつ生きるしかない状況もある。こんな時、<生きめやも>となる。

殺人などの罪を犯して、生への道をみずから塞ぐ場合は自業自得だといわれてもしかたない。会社の倒産とか、震災で家や家族を失うとか、<まさか>という事態が起る場合。いつなんどき襲うかもしれない災難、この外からの災難は容赦なく無差別に襲う。悪人なら、罰が当たった、といわれるか、反省せよという神の声になるかもしれない。でも、普通に生きていた人が、このような災難に見舞われたら、どうして自分にとと思うだろう。<生きねば>という人、もうだめだという人、そして、<生きめやも>と迷う人もいるだろう。

外からの災難でなく、内からの災難もある。生まれや育ち、身体能力など、親とか遺伝子など自分の意思と無関係に、生まれた時点で不利な立場に立たされる人がいる。とくに身内からでる災難は問題だ。家庭内暴力をふるう親とか、難病を持って生まれたとか、ともかくこの世に生まれたとたんに、二重苦、三重苦を背負う人がいる。自分が惹き起こした災難なら、しょうがないとあきらめもつく。だが、自分がどんなに頑張っても、親とか遺伝子などという身内から出た災難には怒るに怒りようがない。なんでこんな親から生まれた、なんでこんな病気になったんだと恨んだり、怒ったりすることはできる。この恨みや怒りを、他人の始まりである親にぶつける人も、自分自身に怒りをぶつける人もいる。でもこの恨み、つらみを乗り越えない限り、何ひとつ解決しない。

幸せな家庭に生まれ、健康に恵まれ、大学、就職、結婚とすんなりいく人もいる。そういうのを横目に見ると、世の中じつに不公平なのだ。この不公平の根源が、国や社会にあるなら、政治運動や革命を起こして、平等な社会を目指すために<生きねば>という人も出るだろう。武士の子は武士という身分制度の江戸時代も、明治維新によって四民平等と一応なった。四民

平等といわれても、貧乏とか外からの災難や病弱などの内からの災難という星の下に生まれたら、〈生きねば〉の気力を奮い起こすのは難しい。

堀辰雄は『風立ちぬ』という題名の小説を書いている。よほどこの一節に心を引かれたのだ。暮らしに追われていると、いつのまにか生きてきたというのがふつうだ。堀辰雄がどうしてこの〈生きめやも〉にこだわったのだろうか。

実父、堀浜之助は広島藩の士族。維新後上京、東京地方裁判所の監督書記。夫妻に子どもがなく、実母は下町の娘だった。しかし、堀の実子として戸籍が作られ、堀夫妻の死後も年金が実子の堀辰雄に手配されていた。母は職人と結婚し、新しい父も実子のように辰雄を可愛がり、幸せな少年時代を送る。ここまでは、まずまずの生涯だった。1923年（大正12年）関東大震災で母が死ぬ。本人はかろうじて生き残ったが、実母の死は心に大きな傷跡を残す。その年の冬に肋膜炎にかかり、その後再発を繰り返し、死の病であった肺結核を宣告される。何度も療養生活を強いられる。1927（昭和2）年、尊敬する偉大な先輩、芥川龍之介の自殺に衝撃を受ける。恋人ができ、婚約するが、その人も堀辰雄と同じ肺結核で1935（昭和10）年に死亡。弟のように接していた立原道造（盛岡にもゆかりのある詩人）もまた、同じ肺結核で24歳の若さで1939（昭和4）年に死ぬ。

愛する母、尊敬する先輩、婚約者、友人の命が目前で死に神に奪われていく。肺結核という死の病を持つ堀辰雄は自分のまわりに起る死の世界をただ見つめるだけの生活。死と対峙するのは自分一人だけでも十分なのに……。敗戦後、アメリカからストレプトマイシンという特効薬が来て、多くの人を救うことになった。が、この新薬も彼の命を救うことはなかった。不治の病と闘いながら、48歳（昭和28年）まで作品を書き続け、〈生き抜いた〉。壮絶な生と死の戦いで〈生き延びる〉ためには、〈風立ちぬ〉が必要だった。眠っていた風が目覚めて、さあ、立ち上がるぞという声が聞こえたとき、人もまた眠りから醒めて、今日一日を生きる。そのような日々を繰り返して、堀辰雄は〈生き抜いた〉。

生き抜くという意味ではもっとすさまじい人生を送った人がいる。凍傷による手足の切断という話。寒村に生まれた一人の娘。2歳の時、霜焼けにかかり、凍傷が原因で3歳のとき両手両足が切断される。7歳の時父が死亡。母は生きるために再婚。しかし、両手両足のない娘とは、前世の業ではないかと考える時代だった。冷たい世間の目を受けながら、母は、「食事、トイレ、風呂、といった身の回りのことはもちろんのこと、裁縫編み物、炊事、洗濯、さえも出来る」²⁾ようにしつけた。

やがて、20歳の時、彼女は見世物小屋で〈だるま娘〉の名で、「裁縫や編み物そして口で筆をくわえて字を書くといった芸」を見せる看板娘として働く。生きるため、自活するため。では、彼女はこれで満足したか。もちろん否だ。見世物芸人にならなければ生きていけない。でも見世物としてこの世に生まれてきたのではない。なぜこんな目にあわねばならないのか。こうなると自分を生んだ両親を恨むとか、見世物の自分を見て喜ぶ他人を恨むことなる。恨み心を持つ限り、心が晴れることがない。ある時、どんなからだで生まれても、この世にあるということは何かの意味がある。阿彌陀様にすべてを任せましようという人のことばを聞く。それ以後、ただ生きるのではなく、なぜ生きるかを学び、考える日々を過ごす。46歳になって、見世物小屋の芸人というただパンのみの生活に別れを告げた。一人の人間として、〈生きねば〉という風を立ち上げる語り部として人生を歩むことになった。

可もなく不可もなしの人生を送っている私などには風は吹いてこない。だが、微風でもよい、たまには自分の風を立ち上げたい。もともと、「みんなちがって みんないい」（金子みすゞ）のだ。この風は自分の中から立ち上ってくる、自分の風なのだから。

¹堀辰雄、小説『風立ちぬ』の中でポール・ヴァレリーの詩『海辺の墓地』の一節の記。

²「中村久子さんの生涯一心の手足」中村久子さんの一生 www.koumyouji.com/houwa/09.htm より

交流の広場

厚生労働省より 75 歳以上の医療制度の改訂が、新聞紙上に載りました。同時に、高額療養費制度が変わるとのことです。

80 歳を過ぎ、免許更新は 4 回目となり、J A 共済の保険の勧めは完了とともに全くありません。

私は中央通りの「水沼医院」で毎年検査を受けていますが、今年も結果異状なしの判定をいただきました。

煙草は吸ったことがなく、外食はしない（コンビニは利用しない）等が要因と思っています。

これは家内が福岡高校から市川の専門学校(現短大)で寮生活を送り、今でも隔年ごとに駅前の料亭で同期会を開いています。この寮生だったことにつながりが、旅行などで車を利用させてもらうなど、お世話になった事がありました。

今までの山行は「30 周年記念号」に載っていますが、若い時の数多くの山行は、会友のお陰であり感謝しています。

神棚と仏壇は、毎朝礼拝しています。神棚には富士山頂上浅間大社・御嶽神社・白山比咩神社奥宮のほか、

鹿島神宮から出雲大社まで、旅行先で買い求め、奉納しています。

仏閣は御朱印帖に記入して頂いていますが、数集め？です。室生寺・長谷寺などは、レンタカー利用でなければ行けないお寺です。

今は、車での近場の旅行や「大人の休日」・「フルムーンパス」利用の旅行などを楽しみにしています。

NO109 浦部

会報部員のひとこと

会報部員のひとことは、会報部員が順番で掲載することになっています。

部員数が多くても他の役職との兼務の会員が多く、専門部会で残るのは数人だけです。

また、「行ってきました！」の欄は会山行を含めて多く、無届山行は解消されましたが、これを交流の広場に「エッセイ」で活用できないか、検討願います。

いずれ、来年は「会友」を希望したいと思っています。

(浦部)

— ドクダミ —

初夏になると、半日陰の湿地などに見られるおなじみのドクダミ。繁殖力が旺盛で、刈り取っても刈り取っても出てくるため、あまり歓迎されない向きもある。

その花は、葉との区別が明瞭で、独特な匂いから薄暗がりでもその存在が分かる。

十薬又は重薬とも書かれ、利尿作用があり、高血圧 動脈硬化の予防作用もあると言われる。湿疹、かぶれなどには生薬をすりつぶしたものを張りつけると良い。漢方では解毒剤として用いられる。

No.19 中村美栄子

あかげら 第345号

2017年8月23日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 辰巳和司

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

■盛岡山友会のホームページ■

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～